【樹木・草花の部屋】

スノーフレーク（ツツジ科/カルミア属　Leucojum aestivum　　）

和名；スノーフレーク　別名；スズランスイセン（鈴蘭水仙）　英名；summer snowflake
ユリ目 多年草
原産地；ヨーロッパ中南部　花言葉；記憶 、純粋、 美、 汚れなき心、 清純
花の色；白、

← 写真－１　スノーフレーク
撮影日：２０１３年３月３１日
撮影場所：大和郡山市 M 邸にて
撮影者：M さん

自宅の花壇、毎年、春先に咲いてくれます。花弁の縁の緑色のアクセント・・・。可憐で清楚な雰囲気がとても素敵です。手のかからないのもまたよろし・・・。

正式な和名はオオマツユキソウ(大待雪草)、別名はスズランスイセン（鈴蘭水仙)だそうです。が、本稿では、馴染みのあるスノーフレークをあえて採用しました。

地際から花茎を 1～数本伸ばして、その先端に、花弁の先端に緑の斑点がある白いスズランのような花を数輪、咲かせます。

写真－２　　スノーフレークの花　　⇒
撮影日：２０１３年３月３１日
撮影場所：大和郡山市 M 邸にて
撮影者：M さん

径 1.5cm ほどで花びらは 6 枚、葉は細長い帯状で地際から 4～5 枚ほど伸ばします。初夏には葉っぱが枯れて、秋まで休眠に入ります。花期は春で秋植の球根草ですが、数年くらいは植えたままでも差し支えなし。我が家では植え付けてから 10 年以上経ていますが、毎年、咲いてくれています。心もち、勢いが・・・。

日本の気候では秋に球根を植えて、4 月～5 月に花を咲かせますが、原産地では主に夏に開花するところから「サマー・スノーフレーク」の英名があります。

＜ちょっと一言＞

スズランスイセンとは、釣鐘状の花がスズラン、幅がある細長い葉っぱがスイセンに似ているところから・・・・。

属名のレウコユムは「白いスミレ」と言う意味。花が白色でスミレに似た芳香を放つこ

とに由来するそうです。種小名のアエスティウムは「夏の」の意で、開花時期から来ているそうです。

　終わった花をそのままにしておくとタネをよくつけます。花は可憐な印象ですが、とても丈夫で大株になり、半日陰でも花を咲かせます

　本種と名前の似たスノードロップ（マツユキソウ） という球根草もあり、これと混同しないよう要注意です。

　とはいうものの、小生もしばらくは混同していた時期がありましたが・・・・。